本日のスピーカーご紹介

本島北部から

くにがみそん
国頭村

役場職員
本田　秀次 さん

国頭村で生まれ育ち、九州の大学へ進学してそこでの就職も考えたが、豊かな自然での快適な生活が忘れられず、国頭村での就職を決意し、今に至る。
父親が九州（大分県）出身、自分の妻が関東（神奈川県）出身で、村外からの移住者が比較的多めの家族の移住2世です。（笑）
今回、国頭に移住されて約10～30年ほど経ったベテランの先輩移住者者や、まだ移住したばかり（約1年）の先輩移住者たちの、国頭村への移住のきっかけや、現在どんな暮らしをしているかをご紹介します。

本島周辺離島から

あぐにそん
粟国村

地域おこし協力隊
松下（上原）梓子 さん

今回の相談会では、人口約700人・周囲約12キロ、人よりもヤギや牛と出会う自然豊かでのどかな田舎で、島ぐらしを楽しむコツをお伝えできればと考えております。

粟国村には高校がありませんが、子どもたちへの助成が手厚く、地域みんなで子どもを見守ってくれることもあり、子育てしやすい環境だと思います。また、村内には空き家がたくさんあり、すぐに住むことのできる家も数多くはないですが、存在しています。村内に不動産屋がないため、大家さんとの直接交渉をしなければならない難しさはあるものの、交渉次第では安価で一軒家を借りることもできるかも…!?　その方法なども知りたい方にはレクチャーいたします！

国頭村

森と水とやすらぎの里
“くにがみ”

やんばるの自然環境を活かした、国頭村ならではの観光を目指した取組みやスポーツツーリズムの取組みも始まっています！

1)移住・定住支援制度

・移住体験住宅有（3施設）
・こども医療費助成（0歳児から高校卒業まで）
・こども任意予防接種費用助成
・子育て支援事業
・結婚祝金、出産祝金
・農業振興補助金
・水産業奨励補助金　　等　　※その他各種事業有り

2)生活環境
・人口、世帯数　4,690人、2,318世帯（令和元年7月末現在）
・交通　車/路線バス/コミュニティバス(主に村内の移動)
・お買い物　［村内］共同店11箇所、スーパー1店舗、コンビニ2店舗
・医療　診療所2施設
・子育て　保育機関2施設/小学校5校/中学校1校

3)交通アクセス
那覇市から約100ｋｍ（車で約2時間）、
沖縄本島北部の中心都市名護市からは約30ｋｍ（車で約45分）

担当：本田　秀次
所属：沖縄県国頭村企画商工観光課
電話：0980-41-2622
✉：kikakuzaiseisection@vill.kunigami.lg.jp
ＨＰ：http://www.vill.kunigami.okinawa.jp

【担当者より一言】
世界自然遺産登録を目指す国頭村で、海・川・森林の中で心地よい生活を望む方は、是非、国頭村へ！

東　村

花と水とパインのむら　東村

1)移住・定住支援制度

・こどもの医療費助成（中学生卒業まで）
・出産祝い金
・定住促進住宅
・田舎暮らし体験
・就農支援制度
・体育施設等無料開放
・人材育成事業
・育英資金

パインマン１号　　ノグパー

東村ＰＲキャラクター

2)生活環境
・交通　車/コミュニティバス(主に市町村内の移動)
・お買い物　　売店６ヶ所
・医療　診療所1施設/歯科診療所1施設
・子育て　保育機関1施設/幼稚園2施設/小学校3校/中学校1校/高校0校
・待機児童数　0名

3)交通アクセス
那覇から車で約１時間４５分名護から２５分

電車、モノレール、路線バス、
コンビニ、スーパー切なし！
だけど、自然とちむぐくるは
有り余るほどにある。
そんな東村に
興味がある方はどうぞ！！！

担当：城間・楠原（地域おこし協力隊）
所属：東村役場　企画観光課
電話：098-043-2265
✉：kikaku @vill.okinawa-higashi.lg.jp
ＨＰ：http://www.higashi.okinawa.jp

うるま市

ドリームアイル
Dream Isleうるま
～あなたらしい生き方に挑戦する島～

世界遺産　勝連城跡

海中道路

島しょ地域の風景

うるま市は沖縄本島の中心に位置しています。うるま市の島しょ地域は、本島地区から海中道路で繋がっている平安座島、宮城島、伊計島、浜比嘉島と市内唯一の有人離島である津堅島のことを指し、島でチャレンジ（起業）する取り組みをサポートしていきます！！
日中は風光明媚な海・夜はきらびやかな星空に囲まれ「あなたらしい生き方」に挑戦する仲間をお待ちしています！

うるま市島しょ地域情報

うるま市公式動画
うるまの魅力が詰まった動画をご覧ください。

島の教育

①Support

・お試し移住住居有（要相談）
・空き家活用サポート
・起業支援「**島ベンチャースクール**」開催予定（R2年度予定）

②Living environment

・交通：路線バス あり/コミュニティバス あり/各島～学校間送迎バスあり
・お買い物：スーパーあり（宮城島から20分）、コンビニあり（平安座島）、地域商店あり
・医療：与勝あやはしクリニック（宮城島から20分）　他
・子育て：保育園・幼稚園2施設/小中学校1校/高校1校（N高）

③Access

・那覇空港から車で約７５分

④Other

・地域資源・社会的課題多数⇒「**島ベンチャー**」の力を必要としています。

こんにちは、うるま市島しょ地域移住コーディネーターの石川です。お家や移住のご相談がありましたらお気軽にご相談ください。

担当：石川　優子（いしかわ　ゆうこ）
所属：沖縄県うるま市企画政策課
電話：０９８－９７３－５００５
✉：ijyu-c@city.uruma.lg.jp
ＨＰ：https://uruma-people.com

粟国村

１日３６時間の島「あぐに」

沖縄本島・那覇市の北西60Kmに位置する粟国島（あぐにじま）。
東方に沖縄本島が連座し、南に慶良間諸島、渡名喜村と並び、南西に久米島が遠望できます。この小さな島に700人弱の人が住んでいますが、あまり観光化が進んでおらず、またお年寄りが多くのんびりした島で、都会の喧騒を忘れるには打って付けの島です。

1)移住・定住支援制度
粟国ライフを応援します！
■定住施策
・結婚祝い金
・新築祝い金
・出産祝い金
■妊婦健康診査旅費等助成金
交通費（定期船賃）や宿泊費を助成
■こども医療費助成
入院医療費等を全額助成します(中学卒業)
■住居施設
・単身者用の定住者支援住宅（6,000円／月）
・空き家バンク制度あり

フェリーで約2時間

2)生活環境
・交通　タクシー（1名200円）/コミュニティバス(主に村内の移動)
・お買い物　　スーパー・商店等施設計３軒
・医療　診療所１施設（医師・看護師常駐。Drヘリ支援有り）
・子育て　保育所1施設/幼小中学校1校（高校はありません）
・待機児童数　０名

担当：斉藤　慎也
所属：粟国村役場総務課
電話：098-988-2016
✉：soumu@vill.aguni.okinawa.jp
ＨＰ：http://www.vill.aguni.okinawa.jp

ゆっくりと、のんびりと。。
都会の喧騒から離れ、ゆったりと生活しませんか？子育てにとても向いている島です。

久米島町

豊かな自然と、暮らしに必要な施設が揃う「暮らす島」
琉球王国時代、交易の拠点だった「歴史文化の島」
海洋深層水など新しいことにも取り組む「成長する島」

久米島町生活基盤情報

1) 移住・定住支援制度

・こどもの医療費助成（中学卒業まで）
・出産助成金／出産奨励金

2) 生活環境

＜交通＞
車／路線バス／タクシー

＜お買い物＞
スーパー、ドラッグストア、コンビニ、
宅配生協、ホームセンター、家電店など

＜医療＞
病院 1 施設（24 時間救急外来対応）／診療所 1 施設
※常設診療科は「内科」「小児科」のみ
その他の科は週 1～4 日開設

＜子育て＞
子育て支援センター／ファミリーサポートセンター
保育機関 5 施設／幼稚園 2 園／小学校 6 校／
中学校 2 校／高校 1 校

＜待機児童数＞　0 名（4 月時点）
※年度途中入所の場合は待機となる場合があります

3) 交通アクセス

那覇から飛行機で 30 分／フェリーで 3～4 時間

風の帰る森リクルート情報

1) 風の帰る森とは

2020 年 4 月に久米島町の銭田（ぜんだ）森林公園内にて、子どものための場所「風の帰る森」がオープンします。久米島の海と山に囲まれた豊かな環境で宿泊（保養も兼ねる）・学童（久米島町初の学童）・飲食・児童図書室の機能を持つ施設として運営を開始します。
久米島の自然に囲まれて子どもに関わるお仕事につきたい方、子育てをしたい方、募集中です！

2) 採用条件

①学童部門：
学童支援員（放課後児童支援員）、保育士、教員免許等の有資格者が望ましいです。
②施設部門（宿泊、飲食、図書、里山里海づくり、畑、他）：
必ずしも経験者である必要はありません。

面接希望の方は mail@kazenokaerumori.com までお問い合わせください。

3) 採用スケジュール

2020 年 1 月の正月明けより採用・勤務になります。勤務開始までに久米島町に移住していただき、プレオープン期間を経て 2020 年 4 月にオープンとなります。

担当：島ぐらしコンシェルジュ
上江洲 幹子（うえず みきこ）
所属：沖縄県久米島町企画財政課
電話：098-894-6488
E-mail：info@shimagurashi.net
ＨＰ：「久米島 島ぐらしガイド」で検索！

今回は、現在久米島で子育て中の先輩移住者と一緒に参加しています。「久米島に移住してみて実際のところどんな感じ!?」「子育てはしやすいの!?」などなどリアルな体験談を聞くチャンスです！ぜひこの機会に小さなことでもお気軽にご相談ください！

石垣市

豊かな自然と都市機能が並存する島
ちょうどいい・・暮らしがある。

1）生活環境
・交通　車、路線バス
・お買い物　スーパー、コンビニ、ドラックストア等
・医療　病院３施設、診療所２３施設、歯科診療所１９施設
・子育て　保育機関５２施設、幼稚園１５園、小学校２１校、
　　中学校９校、高校３校

2）交通アクセス
・羽田空港から　約３時間１５分
・関西国際空港から　約２時間４０分
・那覇空港から　約１時間

3）移住・定住支援制度
・移住ウェブサイト
・保育士渡航費助成
・空き家バンク

担当：宮良　麻衣子
所属：沖縄県石垣市企画部企画政策課
電話：0980-82-1350
✉：kikaku@city.ishigaki.okinawa.jp
ＨＰ：https://ishigaki-ijyu.com/

【担当者より一言】
都会すぎない便利な離島
暮らしが実現できる☆彡

沖縄県

沖縄県がある琉球諸島には大小160の島があり、そのうち37が有人島になります。県は41の市町村からなり、エリアによって様々な特徴を有しています。

豊かな自然はもちろんのこと、沖縄独自に発展し、継承された伝統や文化も大変魅力的です。

ごあいさつ

はいたい！イベント主催者の沖縄県企画部地域・離島課です。当課では、離島や過疎地域の振興を目的とした事業を行っており、その一つとして沖縄県移住定住促進事業がございます。子だくさんと言われる沖縄でも、本島北部や離島によっては既に人口減少が始まっており、地域の暮らしや産業、伝統の継続が難しい状況のところもあります。そのような中で移住取組を行う県内市町村と、沖縄の田舎や離島で暮らしたいという移住希望者の方が出会える機会を、移住相談会や移住フェア、移住体験ツアーの実施や、総合移住ガイドブックの発行、移住情報サイトの運営によって提供させて頂いております。

移住をご検討中の皆さまへ

沖縄県には毎年平均約3万人の転入者があります。多くの方が、本土から海を遠く隔てた沖縄へ、期待や不安、様々な思いを胸にいらっしゃっているかと思います。一方で、転出も同数程度あり、転勤や進学で沖縄を離れる方もいれば、中には定住をあきらめて帰る方も含まれるでしょう。「沖縄は南の楽園だと思っていた。来てしまえば何とかなると思っていた」という方、実際の沖縄暮らしは「自分のイメージとは違った」とお話くださる方もいらっしゃいます。

皆様が望まれる理想の”沖縄暮らし”を実現し、継続するためには、「収入確保はどうしようか」「本島か、離島か、そもそも自分が暮らしたい、と実際に生活できる”沖縄”のエリアはどこだろうか」等、移住の準備やシミュレートはとても大切だと思います。この度の移住イベントで市町村担当者と直接話すなどして、多くの情報を得て頂ければと思います。

沖縄県の支援（抜粋）

仕事・生活相談窓口
・グッジョブセンターおきなわ
（電話：098-865-5006）
就職支援
・UIターンセンター（2019年9月開設予定）
（銀座わしたショップ、県大阪事務所）

生活環境

・交通
【沖縄本島内の移動】車/モノレール/路線バス/コミュニティバス
【本島から離島へ行く場合】飛行機/チャーターヘリ/フェリー
【離島内の移動】車/路線バス/コミュニティバス

・お買い物
［市街地］スーパー等施設多数
［本島北部・小規模離島等］商店

・医療
県立病院6施設、公設診療所、民間医療機関等

・待機児童数
1702名（2019年4月1日時点）

・学校
幼稚園（公立200/私立31）
認定こども園55
小学校（国立1/公立266/私立4）
中学校（国立1/公立150/私立6）
高等学校（県立60/私立4）
大学（公立4/私立4）

その他概要

人口	1,445,013人（平成31年4月1日現在）
平均気温	23.5℃
産業	卸売業、小売業、観光業（宿泊、飲食等）、医療福祉、農業、漁業
農業	肉用牛、さとうきび、野菜、花木等

担当：堀井・黒川
所属：沖縄県企画部地域・離島課
電話：098-866-2370
✉：aa017035@pref.okinawa.lg.jp
HP：https://okinawa-iju.jp/

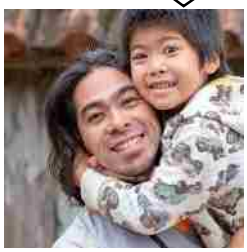
イベント当日の「沖縄県ブース」では、事前予約枠と、フリー対応の職員も配置しております。出来るだけ多くの方の、ご相談やお問合せに対応させて頂きたいと思っておりますので、お気軽にお声がけください。

沖縄県社会福祉協議会・福祉人材研修センター

沖縄本島中南部・宮古・八重山地区における福祉分野の無料職業紹介を行っています。

地縁のない移住者にとって「福祉職」は地域の入口となります。
地域のおじい・おばあと関わることで、その土地の歴史や文化を学び、
暮らしていく大切な関係性を紡いでくれます。
離島過疎地域にとって「子ども」は地域存続ための未来そのもの、
子どもと関わる保育士等は貴重な存在です。
小さな沖縄だからこそ、福祉の仕事は地域から求められ、大きな役割を担っています。

全く知らない地への移住は、移住者自身がマイノリティになり、孤立することに不安がある方もいるかと思います。福祉の現場で仲間をつくり、地域とのつながりをつくり、新しい暮らしをつくることに挑戦してみませんか？



担当：森田
所属：沖縄県福祉人材研修センター
電話：098-882-5703
HP：https://www.okishakyo.or.jp/jinzai/

福祉のお仕事相談

介護現場に関する仕事、障がい福祉に関する仕事、保育に関する仕事を取り扱っています。ブースでは、求人票を見ながら、実際どのような仕事内容なのか、お給料はどのくらいなのか、経験や資格が求められるのか等、色々ご説明いたします。求人によっては、寮付きのものもあります。
また、センター来訪、お電話でもご相談承ります。

福祉のお仕事を探すには？

日本全国、沖縄県内の福祉分野の求人を検索いただけます。

https://www.fukushi-work.jp/

福祉の仕事と地域行事の体験ができる移住体験ツアー O.D.O.R.Uプロジェクト

地域の行事と地域の福祉を体験し、そこで暮らすことを考えてもらうためのツアーです。
沖縄県福祉人材研修センターでは、文化や人と出会い、福祉をそこの住民と一緒に考え、支え、盛り立てる仲間を探す「O.D.O.R.U」プロジェクトを開始しました。誰かの新しい暮らしへの挑戦が、誰かの暮らしの支えになる。そんなキッカケを展開していきます。

＜西表島：大自然と福祉体感ツアー＞
10月19日（土）～21日（月）
集合／解散場所：石垣港離島ターミナル
⇒即移住可能な住居付の職場紹介あります！（高齢／保育）
詳細は下記WEBサイトからご確認ください。
https://sites.google.com/view/odoru/

＼はいさい！／
沖縄より ６市町村が参加！
出展ブースでお待ちしています！

沖縄県の概要

沖縄県がある琉球諸島には大小160の島があり、そのうち37が有人島になります。県は41の市町村からなり、エリアによって様々な特徴を有しています。本移住相談会では、皆様に魅力的に感じる地域と出会って頂き、移住に関する相談や情報収集をして頂ければと思います。

人　　口 1,445,013人（平成31年4月1日現在）
平均気温 23.5℃
産　　業 卸売業、小売業、観光業（宿泊、飲食等）、
農　　業 医療福祉、農業、漁業
肉用牛、さとうきび、野菜、花木等

1. 石垣市

企画部企画政策課地域創生係
担当：宮良
TEL：0980-82-1350
https://ishigaki-ijyu.com/

アクセス：那覇空港から飛行機で約1時間
人口： 約49,000人
主な産業： 農業、畜産業、観光業
特産品： パイン、マンゴー、石垣牛、　八重山そば、ミンサー織

2. 国頭村

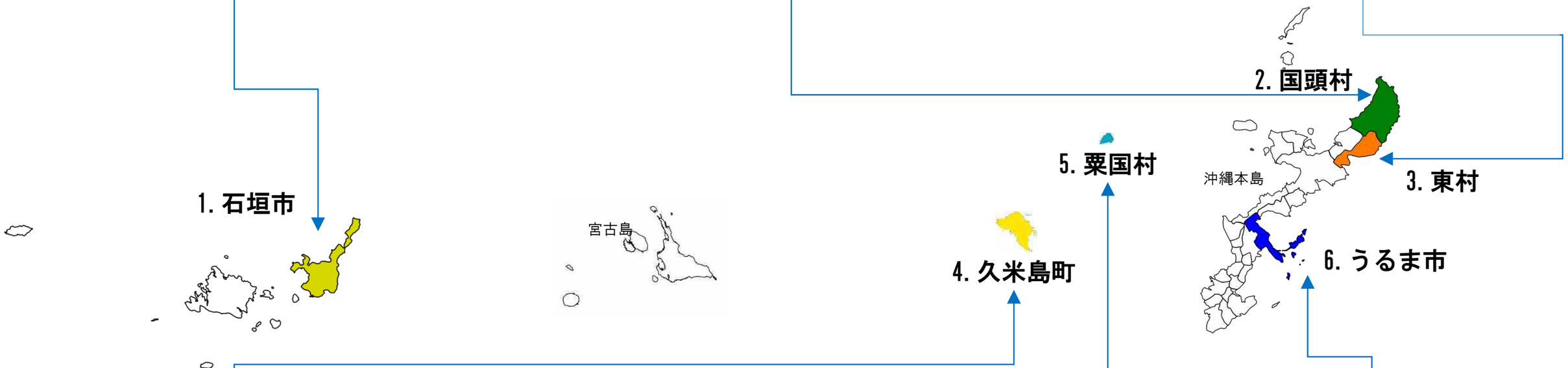
企画商工観光課
担当：本田
TEL：0980-41-2622
http://www.vill.kunigami.okinawa.jp

アクセス：那覇空港から車で約2時間
人口： 約4,690人
主な産業： 農林漁業、サービス業
特産品：お茶・からぎ茶・イノブタ肉・農産加工品・海産加工品・木工芸品

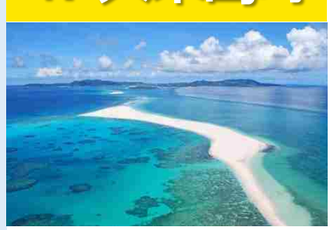
3. 東村

企画観光課
担当：楠原
TEL：0980-43-2265
http://www.vill.higashi.okinawa.jp

アクセス：那覇空港から車で約2時間
人口： 1,784人
主な産業：農業、観光業など
特産品：パインアップル、かぼちゃ、マンゴー、タンカン



4. 久米島町



企画財政課島ぐらしコンシェルジュ
担当：上江洲
TEL：098-894-6488
http://www.shimagurashi.net

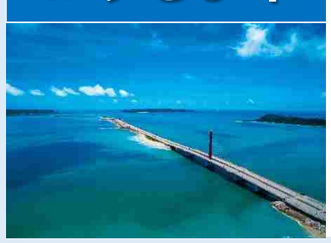
アクセス： 那覇から飛行機で約30分、フェリーで約3～4時間
人口： 7,743人
主な産業： 農業、畜産業、水産業
特産品： 車エビ、モズク、海ぶどう、久米島赤鶏、泡盛、久米島紬

5. 粟国村

総務課　担当：斉藤
TEL：098-988-2016
観光移住定住支援ポータルサイト「Agunity」（http://agunity.jp）

アクセス：那覇泊港からフェリーで約2時間10分、ヘリタクシー約25分
人口： 約702人
主な産業： 農業、畜産、製塩
特産品： 粟国の塩、かち割り黒糖、もちきびかりんとう、そてつ味噌

6. うるま市



企画部企画政策課
担当：盛根
TEL：0980-82-1350
http://uruma-people.com/

アクセス：那覇から車で約75分
人口： 約12万人
主な産業：観光業、農業、漁業
特産品：もずく、にんじん、びーぐ